

自然の合唱団

風が当たって木の葉がすれる音の聞こえる場所や、川などの気持ちよく音が響く所に自然の音を探しにいきます。自然の音はイメージしている音とは違った、さまざまな音が出ていることに気づくでしょう。



ねらい

自然にはいろんな音があることを知る。実際に聞いてみると、イメージとは違って発見する。音を表現する楽しさを知る。

達成目標

- ・自分が聞いてきた（取材してきた）音で、取材する前のイメージと異なっている音について例を挙げて説明できる。
- ・自然の中の音について、考えたこと、感じたこと、新たに発見したことを表現できるようになる。



導入

「風の音ってどんな音？」何人かにまねをしてもらって。「森に入るとどんな音がするだろう」などの疑問を投げかける。どんな所で森の音が聞こえそうか、みんなで考えてみる。活動の説明をする。

まとめ

どこで音を聞いてきたか、みんなの音を聞いてみて、合唱をしてみるの感想を紹介しよう。

展開

森の中に散らばり、それぞれ好きな場所で音を聞く（移動に数分。少なくとも5分以上音を聞く）。音を覚えてきてもらう。みんなが帰ってきたら、それぞれに聞こえた音を紹介してもらう。できれば、みんなで一緒に音を出して（合唱して）、森の音になるかどうか試してみると面白い。

実施のポイント

それぞれが聞いてきた音については間違いではないことを強調しよう。はすかしがらずに、自分の観察（音を聞いて覚えること）結果を大切にすることを促そう。最初に予想した音と同じかどうか比べてみよう。「はじめに言ってもらった音とぜんぜん違うね」「森の中はいろんな音であふれているね」音を録音している時に発見した姿勢や自然物についてコメントする。録音してきた音を一緒に言うとき、似たもの同士が集まってきて再現すると、大きな川になる。

評価の視点

約束どおり、ちゃんと音を聞きに行き、覚えてきたか。自分で探してきた音を自信を持って表現できたかどうか。

発展・応用

川で行ったり、海で行ったり、環境を変えてみると楽しい。音を表現しながら、ゼエチャーも交えてみるのも面白い。

参考文献

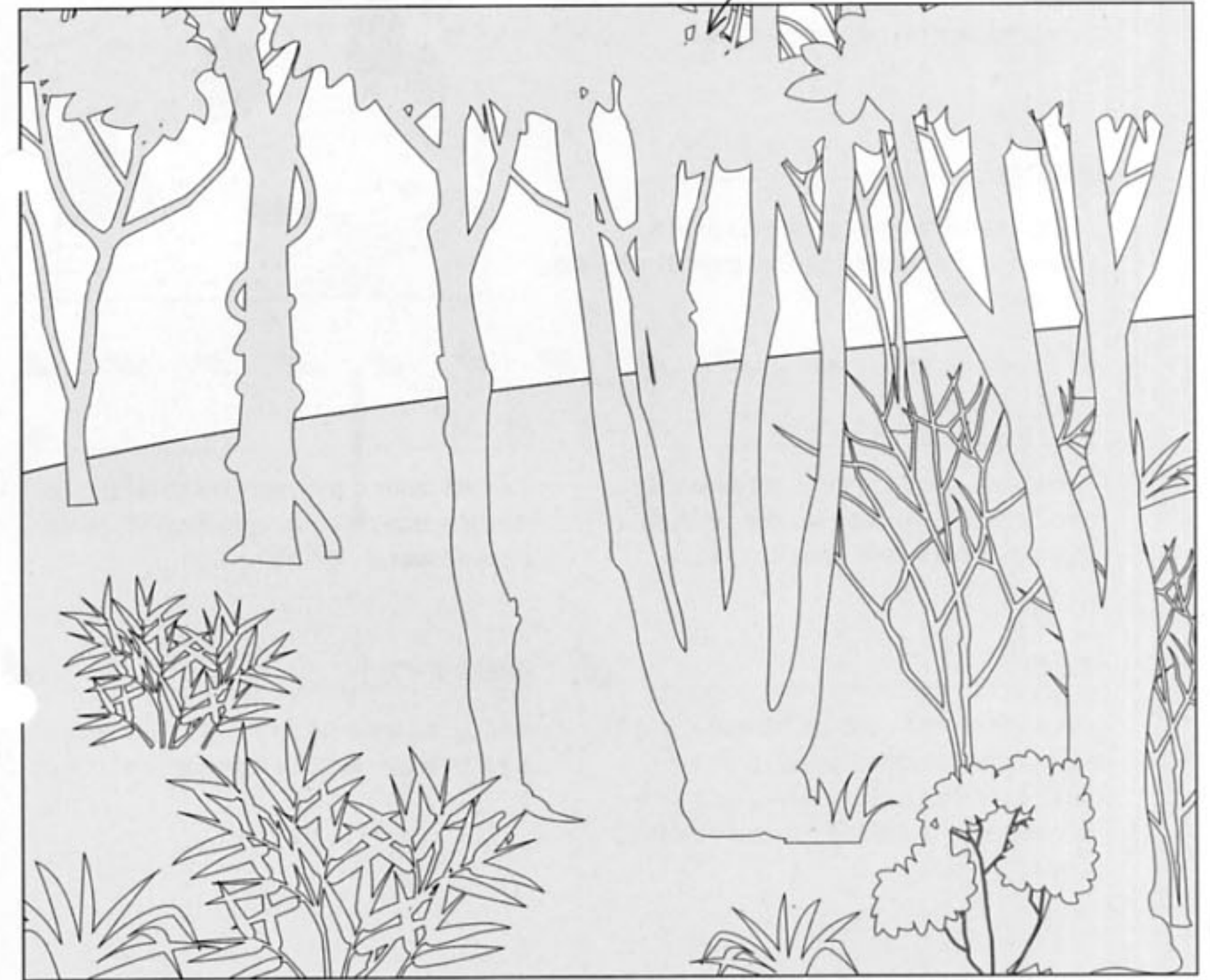
オリジナル/「山のふるさと村ビジターセンター

平成11年度環境教育活動報告書]

自然の合唱団 2

◆ どこでどんな音がしたかな？それは何の音？音をきこえた通りに書いてみよう

たとえば…
しゃらしゃらじゃらじゃら



◆所要時間	30分
◆人数	7~15人
◆関連科目	国語、理科、音楽
◆焦点を当てる能力	聞く、表現する、覚える 選ぶ
◆準備するもの	なし
◆安全のポイント	散らばる範囲について明確に指示しよう。

年 月 日 名前